

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	みずほ保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成20年6月27日

総 評	<p>みずほ保育園は、宮津市の中心地の近くに位置しながら、自然豊かで、のどかな地域にある保育園です。子ども達も「安全保育（無事故）。年齢に応じた基本的な生活習慣を身につける。自分で考えて、行動できる子ども。」という保育目標の下、遊びを中心とした生活の中で、自然に親しみ、手作りの温かい雰囲気を通して、豊かな心と自分で考えて生きる力を育てています。</p> <p>立地環境を活かし、自然にふれ、農業体験や地域の人々とのふれあい遊びなどの活動を通じて、地域に根ざした開かれた保育園を目指しています。</p> <p>また、地域子育てサポートセンター事業に取り組み、子育ての楽しみを見つける行事や子育て相談等が実施され、働くお父さん、お母さんの子育てを応援しています。</p>
特に良かった点(※)	<p>○保育園と保護者が連携をとりながら、子ども達が安心して生活できる「養護」に重点を置いた保育を実施し「生命の安全」と「情緒の安定」を最優先に取り組んでいます。</p> <p>○延長保育時間は、子どもの興味や関心に応じて遊びの環境作りに工夫がなされています。</p> <p>○周辺の自然環境を活かし、散歩に出かけたり、木の実を取ったり、野菜を収穫したりと恵まれた自然環境の中で保育が行われています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>○保育を評価、見直しをするマニュアルがあり、職員間では機能していますが、管理職との連携を図る等組織的な対応をすると尚良いでしょう。</p> <p>○乳児クラスの食事では、個々の発達に合わせた援助を工夫したり、食後の子ども達の過ごし方を検討されると良いでしょう。</p> <p>○入園のしおり等に苦情解決の方法については明示されていますが、第三者委員の連絡先を記載されると尚良いでしょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	みずほ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年6月27日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

## [自由記述欄]

・理念・基本方針・保育目標は明文化されており、保育園のしおりに記載されています。保護者には入園時に説明・配布されています。

・職員には理念、基本方針を園内に掲示して周知する等はされていますが、今後、職員会議や園内研修等で継続的に周知を図られると尚良いでしょう。

・事業計画は策定され、利用者に向けて園の玄関入り口の掲示板により広報されています。数値目標等の設定をされると良いでしょう。

・管理者は法令遵守等の研修には参加されていますが、実践するための具体的な取り組みがあると良いでしょう。

・保育サービスの質の向上に関しては、利用者アンケートを行い職員等にも課題の周知はされています。業務の実施記録をさらに整備するとともに、管理者の更なる指導力を発揮されるとなお良いでしょう。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

## 【自由記述欄】

・社会福祉事業として保育園でいま何が出来るかなど地域アンケートを行い、保育・福祉ニーズを把握するための取り組みがされています。

・人材に関する具体的なプランに基づく人事管理をされると良いでしょう。人事考課は園独自の基準で実施されていますが、客観的な判断基準に基づく定期的な人事考課を実施されると良いでしょう。なお前園長が職員の指導・相談役として連携し、アドバイスをしています。

・職員は年間に1回以上の研修会に参加しています。研修終了後には、研修記録を残し他の職員と共有できるようにすると良いでしょう。個別の研修の計画を立て取り組まれています。評価・分析を行うと尚良いでしょう。

・実習生の受け入れを行い、意義方針をマニュアルに明文化し、担当者を決めています。

・地域の近隣住民の方との交流を持ち昔ながらの遊びを教えもらったり子どもたちと地域の交流が行われています。

・利用者の安全確保や事故防止のマニュアル類が整備されています。今後、定期的な事例検討会での記録、マニュアル等の改定の記録を残すことで組織内での意識の向上につながりなお良いでしょう。

・子育てサポートセンター事業を通して、子育て相談や専門的な保育技術を地域に提供する取り組みを実施されています。実施記録の整備を行うとなお良いでしょう。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	C	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	C	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	C	B	

## 【自由記述欄】

・利用者満足の向上のため行事後にアンケートを実施しています。アンケート結果を改善につなげられると良いでしょう。また、個人懇談会を年1回実施しています。現在5歳児のみ年1回実施しているクラス懇談会を各年齢ともに実施されると良いでしょう。

・苦情解決は園独自のポスト「うさぎのみみ」を設け体制を整え、苦情受付担当者等を玄関前に掲示をしています。第三者委員の連絡先を記載すると良いでしょう。苦情は園だよりでフィードバックしていますが、対応マニュアルの定期的な見直しをされると良いでしょう。

・現在実施されている保育士等の自己評価結果について分析、検討し、具体的な改善につなげられると良いでしょう。

・必要なマニュアルの作成と改定をされると良いでしょう。

・ケース会議について、定期的に開催されると良いでしょう。

・利用者アセスメントは定められた手順と様式により適切に行われています。また、指導計画により子ども一人ひとりの課題が明示されています。

・指導計画は毎月、管理者を中心に計画的に見直し、実行、評価が行われています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

---

受診施設名	みずほ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年6月27日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

## 【自由記述欄】

- ・保育園の理念や保育方針に基づき、適切に保育計画を作成し保育にあたっています。
  - ・保育指導計画は毎月担任が作成し、評価を行い園長、主任が点検しています。
  - ・子どもの健康管理については、健康管理に関するマニュアルに基づき全職員に周知する体制が整っています。
  - ・子どもの食事は(3, 4, 5歳児)遊戯室をランチルームとしています。食後におしぼりが用意され身の回りの清潔にも工夫が見られました。
  - ・調理室が子どもたちからよく見える場所にあり、活発なコミュニケーションが行われています。
- アレルギーを持つ子どもに対しては、除去食等一人ひとりに配慮した食事になるように心がけています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	B	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

## 【自由記述欄】

・トイレは清潔に保たれています。手洗い後の手拭きタオルは共用されていますが、個別にペーパータオル等にされるとなおいでしょう。

・保育園の周りには自然が広がり、日々の保育の中に自然物をたくさん取り入れた保育が行われています。

・朝の受け入れの異年齢児保育では、遊戯室で乳児がとても活発に活動できるように配慮されています。

・長時間保育を受ける子どもに軽食が提供されていますが、メニューの明示などが行われると良いでしょう。

また、職員間の引継ぎ事項はホワイトボードに記入して周知していますが、記録として残すと尚良いでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	C	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	B
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

・保護者の方と送迎時に話を聞いたり、連絡ノートで子どもの様子について情報交換をし必要に応じて記録されています。

・5歳児はクラス懇談会をもうけて、保護者との共通理解を深めています。他のクラスも同様に懇談会を実施されると良いでしょう。

・虐待については、マニュアルを作成し対応されています。

・各種の連携や通報する専門機関の連絡先リストを整備されると良いでしょう。